

平成30年度 施政方針

近年、金ケ崎町も人口減少社会に突入しました。今後の人口減少がもたらす地域生活への影響に対して、効果的・重点的に取り組むことを念頭に、3年目となる第十次総合発展計画およびまち・ひと・しごと創生総合戦略を踏まえ、各般の施策を着実に推進し、持続できる「自立の町」を目指します。

※施政方針全文は町ホームページに掲載しています



▶ 基本目標 1 「生活環境 快適に暮らし続けられるまち」

都市基盤 ◆町道野田・前野線の整備、町道一の台10号線の整備に着手 ◆除雪により壊れた道路の補修も含め、長寿命化計画に基づいた舗装補修工事実施 ◆下渋川橋の修繕工事実施 ◆地域における除雪のあり方について検討 ◆一般国道4号の4車線化の事業促進・早期完成に向け国、県へ要望 ◆地域公共交通網形成計画を策定するための法定協議会を設置 ◆JR東北本線の運行本数の拡大を要望

自然環境保全 ◆生物多様性かねがさき地域戦略に基づく自然環境調査の実施 ◆「環境行動指針 ちょうみんグリーンアクション」に基づく町内事業所と連携したライトダウン町民一斉行動の実施、生活環境フェアの開催 ◆環境調査を実施するなどの対策を講じながら公害を未然防止

生活環境 ◆リサイクル教室やごみとリサイクル説明会の開催 ◆燃えるごみの減少とリサイクル率が向上するよう方策の検討 ◆下水道事業等について管路更新工事を進めるとともに、永南処理場における機械設備を更新、さらに厳しい経営状況の改善に努める ◆水道事業において施設の管理計画や財政計画を含めた10年間の基本構想を策定し、老朽施設や老朽管の更新を進める

防災生活安全 ◆町総合防災訓練において住民参加型の実践的な防災訓練の実施、自主防災組織研修会の開催などを通じて自主防災体制のあり方を検討 ◆消防屯所およびポンプ車の更新 ◆消防力の集中による組織体制の強化と消防団活動の効率化のため、消防団の組織再編を進める ◆奥州市と連携し消費生活相談窓口を充実 ◆消費生活見守り推進員を配置し、地域における消費者被害の未然防止、早期発見などの意識啓発に努める

▶ 基本目標 2 「健康福祉 健やかでやすらぎのあるまち」

健康増進 ◆スマート・ウェルネスをまちづくりの中核にして、町民が健康で幸せに暮らせる元気100歳の町を目指し、運動、検診などを推進 ◆健幸ポイント事業参加者の拡大と運動不足解消のための環境づくり促進 ◆がんの早期発見・早期治療を推進 ◆特定健診・保健指導の実施 ◆金ケ崎町自殺対策計画を策定

地域医療 ◆早朝診療、土曜日診療、各種健康診断、町内企業の産業医の受託、医療セミナーの開催等、従来のサービスの提供を継続 ◆町民が明るく健康でいられるよう何でも気軽に相談できる「かかりつけ医」を定着 ◆在宅医療の推進 ◆全身疾患の予防、全身の健康状態の維持・向上につながる口腔ケアを推進 ◆眼科診療の継続

地域福祉 ◆福祉懇談会の開催 ◆民生委員児童委員と連携し、町内のひきこもり者の実態把握と対応策について検討

児童福祉 ◆妊娠、出産、乳幼児期を通じて母子の健康が確保されるよう、乳幼児健診、訪問指導を実施 ◆新生児を対象とした聴覚検査助成 ◆幼稚園・保育園の保育料第3子以降の無料化、チャイルドシート購入の一部助成、妊産婦サポートタクシー助成を継続 ◆学童保育所の環境整備に努める ◆「子どもの生活実態調査(ニーズ調査)」に着手し、子どもの貧困対策についての施策を検討 ◆児童虐待の啓発活動や子育て相談の対応、見守り機能の充実

障がい者福祉 ◆関係機関・団体と連携した支援 ◆障がい者福祉の向上を図るための計画策定

高齢者福祉 ◆地域の高齢者が集まり身近な場所で行える「いきいき100歳体操」の普及 ◆「個別地域ケア会議」の開催などにより、高齢者の自立支援と要介護状態の重度化防止に向けた取り組みを継続 ◆介護職員就職支援助成や奨学金返還補助を実施 ◆地域・行政等みんなで高齢者を支え合う仕組みの構築を検討

▶ 基本目標 3 「産業 産業の振興で活力あるまち」

農業 ◆農家所得向上に結び付く園芸作物への転換を推進し、町の振興作物であるアスパラガス、きゅうり、ピーマン等の作付拡大や新規栽培者に対する支援 ◆良質米の産地である強みを生かした主食用米の栽培のほか、新品種「金色の風」の栽培面積の拡大 ◆金ケ崎町肥育素牛管内導入補助金及び金ケ崎町肉用牛貸付事業基金の活用推進 ◆農業次世代人材投資資金や農業マイスター制度を活用した支援 ◆法人化を目指す集落営農組織に対する組織体制構築等に対する支援 ◆地域資源の適切な安全管理を行う地域共同活動への支援継続 ◆「茅」文化の継承と建造物の維持保存とブランド化を推進

工業 ◆企業の誘致活動と新規立地獲得に努める ◆将来に向けた新たな産業用地の開発について県南地区の自治体、国、県、民間デベロッパー等と連携し、整備実現に向けた取組実施 ◆ハイブリッドカー購入補助金、中小企業資金利子補給、展示会出展補助金を継続

商業 ◆既存商店の支援、商店街の維持のための支援策を町商工会と連携し検討 ◆町商工会、大学等と連携して商業活性化人材養成講座を開催し、商業活性化に向け主体的に取り組む人材を育成 ◆「創業支援事業計画」に基づく創業塾の開催や創業相談窓口の開設による創業者の掘り起こしと創業後間もない創業者への支援、金ケ崎町空き店舗活用補助事業により空き店舗への出店を促進

観光 ◆城内諏訪小路重要伝統的建造物群保存地区と岩手かねがさき温泉郷を中心とする町の魅力を発信 ◆観光資源の認知度向上 ◆関係機関との連携により交流人口を維持

雇用 ◆「就職ガイダンス」を開催 ◆胆江地区管内の事業所と高校進路指導教員との「就職情報交換会」や高校生に地元企業の魅力を伝える「しごと理解ガイダンス」を開催 ◆県内の各大学と連携し、学生に地元企業の魅力を伝える「事業所見学会」などを実施

▶ 基本目標 4 「教育文化 豊かな心を育てるまち」

学校教育 ◆幼児教育、義務教育、英語教育、特別支援教育、ふるさと教育の5項目を重点に取り組む

生涯教育 ◆子どもを育む生涯教育を推進 ◆地域社会の担い手を育む生涯教育を推進 ◆高齢者を支える生涯教育を推進

生涯スポーツ ◆ニュースポーツの普及活動を実施 ◆森山総合公園の施設更新に着手 ◆スポーツ関係団体に対して継続的な支援を実施 ◆指導者の人材育成

読書活動 ◆多くの町民各層が読書に親しんでもらえるような読書環境を整備

文化財 ◆国指定史跡鳥海柵跡の整備基本計画を策定 ◆城内諏訪小路重要伝統的建造物群保存地区の歴史的景観整備を推進 ◆旧陸軍省軍馬補充部六原支部官舎保存活用計画を検討 ◆千田正記念館の活用方策を地域とともに検討 ◆町郷土芸能保存会への支援

国際理解 ◆中国長春市、アメリカアマーレスト町へ公式訪問団等を派遣 ◆ILC(国際リニアコライダー)に関する出前講座やセミナーを開催、町民を対象とした高エネルギー加速器研究機構(KEK)視察を実施、ILC誘致が実現した際の町としてのあり方について検討

連携・協働 ◆それぞれの地域が、安全・安心な暮らしづくりができる地域づくり組織として機能するように制度の見直しを検討 ◆次世代の地域づくりの担い手となる若者や女性の活動サークルの育成にむけ、学びの場や話し合いの場を積極的に創出し、活動が広がるように支援を継続 ◆地域協働推進事業を人口減少社会への対応や地域課題に対応できるよう必要な見直しを実施

行財政運営 ◆中期財政見通しを策定 ◆行政経営改革大綱および実施計画を策定 ◆職員的能力向上を図るため各種研修等を継続 ◆定住自立圏共生ビジョンに基づいた取り組みを実施 ◆行政コストの低減